数の民族誌

世界の数・日本の数

内林政夫著（武田科学振興財団理事長）

四六判・ハードカバー・216頁　定価：本体2600円+税　　八坂書房刊

日本人は数字に強いといわれる。本当だろうか？ フランス語やヒンディー語の数の数え方の難しさは経験済みの方も多いだろう。

本書は諸民族が創って来た数の文化史を、生活の中の具体的な話題を例にしながらその根元まで遡る。優雅な日本語の数詞、百まで異なった表現で数えるヒンディー語、二十進法、六十進法、暦の変遷など世界の諸民族の数とかぞえかたの秘密を探る、話題満載の数の知識集。

目次

1 数字の好き嫌い
2 数を数える
3 数の不親切
4 記数法の生い立ち
5 フランス語の奇妙な数
6 小数文化と分数文化
7 分数はなぜ序数か
8 数4と5の谷間
9 九九の掛け算
10 切手十枚か、十枚の切手か
11 日本語に複数はない？
12 日本の数詞
13 “とつきとおか”の謎
14 数の神秘主義
15 暦の成り立ち
16 イエス・キリストの生年月日
17 週と曜日の誕生
18 ローマ曜日の伝播
19 週の最初の日
20 面倒な水曜日

ご購入の際は下の注文書をご利用の上、お近くの書店にお申し込み下さい。

注文書

書店番線印

八坂書房	**内林政夫**著

定価：本体2600円+税

数の民族誌 **世界の数・日本の数**

ISBN4-89694-433-X C0039 ¥2600E

ご氏名　　**TEL.**　（　　）

ご住所

申込数　　**冊**